

## 学区防災訓練でつながる

新しい年が始まりました。世界に目を向けると、ロシアのウクライナ侵攻やイスラエルとパレスチナの衝突など、悲しい戦争が続いています。東志賀学区は今年も平穏な1年であってほしいと願うばかりです。心配なのは、近い時期の発生が予想される南海トラフ巨大地震。もしもの時は住民で力を合わせて大切な命を守ることが必要です。備えあれば憂いなし。消防団と防災委員会は昨年11月、学区自主防災訓練を企画してくれました。助け合いには、住民同士の顔の見える関係が大切。約200人が参加した訓練は、貴重なつながりづくりの機会にもなりました。

# 命 みんなで守る



## 救助お任せを！



低い姿勢を取って頭を守るシェイクアウト訓練、消火器、AEDの講習、がれきからの人命救助、防災用品が当たるお楽しみ抽せん会。学区の安全・安



## 消火完了！



心のために精力的に活動している消防団と防災委員会は、豊富な企画を用意してくれました。東志賀小の子どもたちも、ヘルメットをかぶり、大人と一緒に訓練に励みました。消防団がキビキビした動きで放水訓練を披露すると、「かっこいい」と歓声が上がりました。

大人気だったのが、「ちびっ子放水訓練」。団員に支えてもらい、校舎に向かって勢よく放水しました。保護者は、消防服姿の凛々しいわが子をカメラで撮影していました。お母さんの1人は「親子で防災のことを楽しく学ぶことができました。次の機会もぜひ、参加したいです」



## 「無事です」避難時に掲示を！

学区の自主防災訓練に合わせて、各町内会で安否確認の練習をしました。「どの家が避難を終えて、どの家に逃げ遅れた住民がいるか」。効率的な人命救助には、こうした安否情報の素早い把握が最も大切

です。学区では「この家は無事です」と書かれた札(写真)を玄関のドアノブに掲げることで、安否確認を進めることにしています。札をお持ちでない方は、タオルなどを代用してください。

各町内会の訓練では、ほぼ10割く3割まで掲出率に大きな差が出ました。防災全般のマニュアル作りも進めてくれている防災委員会は「安否確認の訓練は有事の際に役立つ訓練だと自負しています。ぜひとも、自分ごととして意識してほしい」と呼びかけています。

**今月の題字**  
2024年、最初の題字は東志賀小3年の丸山心遙さんがお正月にちなんだ作品を届けてくれました。生ビールのジョッキに満面の笑みを浮かべる男性のイラストも。上着には「Ryuzi」の名前が！ビール大好きな編集長(鈴木龍司)。ヒーローズ1月号を宝物にします！

と喜んでいました。学区の役員は「今回は子どもさんの参加が非常に多くとても良かった。多世代交流の場にもなりました」と振り返っていました。

# 町の英雄 情報求む

学区の地域新聞「東志賀ヒーローズ」は、地元の明るい話題を大募集中です。情報提供をお願いします。題字のイラストもお寄せください。問い合わせは編集部の鈴木龍司(アバン第1町内会長) 02-3534-3534 専用メールは、higashihigashies@gmail.com

電子版新聞  
ここから！



これまでの地域紙「東志賀ヒーローズ」と「ささえあいたより」を読むことができます。

## 謹賀新年 新しい朝が来た！

### 「健康」「つながり」ラジオ体操



東志賀の朝はラジオ体操から始まります。学区のキーワードは今年も「健康」と「つながり」。

東志賀公園(北図書館の隣)では、晴れの日も雨の日も、住民が元気に体操を続

### 坪内さん 食品衛生に貢献で大臣賞

毎朝の体操でラジオ係を引き受けている坪内大二さん(85)が、長年にわたって食品衛生協会の活動に尽力し



たとして厚生労働大臣表彰を受けました。お菓子の原材料の卸業をしている坪内さんは、食中毒防止の啓発や衛生検査などの活動に貢献。「役などを頼まれたら、放っておけない性格。何事も継続する。それが今年の目標です」と語ってくれました。

けています。東の空が黄色く輝き始める朝6時半。「新しい朝が来た。希望の朝だ」。いつものようにラジオが流れます。「あら、お久しぶり」、

「今朝は思ったよりも寒くないわね」。毎朝の体操は健康の維持と

### 毎朝6時半

#### @東志賀公園

住民同士のコミュニケーションの場になっていきます。

毎年、夏休みには子ども会も参加し、体操の輪は100人規模にふくらみます。早起きは三文の徳。通学や通勤の前に、ぜひ、顔を出してみてください。

## きりり ④ 学区長 山崎悦男さん

午前5時半。まだ寝静まった学区の一角で、朝のルーティンが始める。住民のことを思って、音が出にくいほうまで落ち葉を集め、ごみを拾う。ラジオ体操の後は登校する児童の見守り。「まずは自分自身が動く」。1万人が暮らす学区を引っ張るリーダーとして、言葉ではなく、行動を大切にしてきた。自発的に清掃を手伝い、地域の役割を快く引き受けてくれる住民がいる。「自分たちの手で住みやす

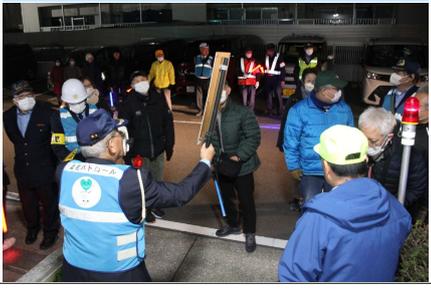


## 行動派のリーダー 次世代に住みやすい学区残す

い学区にしたい」。その思いが共感された気がして、うれしい。「仕事人間」だった人生の転機は40代のころ。息子が参加した学区のソフトボール大会を手伝った。「子どもの成長を地域が支えてくれている」と気付いた。この時期、近所付き合いの重要さも知った。体育委員。町内会長。民生委員。そして東志賀学区連絡協議会会長(学区長)。これまで地域の主要な役を二つ返事で引き受けてきた。手帳は地域の用事がギッシリ。「なぜ、こんなことをしているのか」。ふと自問自答することもある。「結局、将来を担う子どもたちのためにやっているんだと思う」。我が子を育ててくれたのは地域。孫の1人は甲子園出場の夢も果たした。人がつながり、思いやりがあつて笑顔があふれる学区を次の世代に残したい。だから今日も、早朝の清掃から忙しい1日を始める。

## 消防団・防犯委員

平和な日常支える  
年の瀬の夜警



## ソフト&野球 児童を募集

東志賀ジュニアクラブは、白球を追いかける仲間の児童を募集中。問い合わせは、チームHPの問い合わせフォームから。

